

令和 7 年 10 月 29 日
健康推進課

令和 6 年度 練馬区がん検診無料チケット事業について

1 事業目的

子宮がん、乳がんの罹患者は近年増加傾向で、比較的若い年齢で罹患率のピークを迎える。このため、子宮がん検診は 20 歳、乳がん検診は 40 歳からの受診を習慣づけ、がんの早期発見・早期治療に繋げる。

2 事業内容

検診初年度となる子宮がん 20 歳、乳がん検診 40 歳の女性区民へ、自己負担金が無料となるチケットおよび啓発用リーフレットを個別送付。

無料チケット

対象者の検診費用を無料とすることで受診のきっかけを作り、検診に対する誤解や不安を払拭する。

啓発用リーフレット

がん検診の制度を周知することに加え、がんに対する正しい知識の普及、早期発見の重要性を伝える。また、適正な受診間隔で受診することの必要性について周知し、継続的な受診を促す。

3 目標

種別	目標受診率
子宮がん検診（20 歳）	8.7%
乳がん検診（40 歳）	26.4%

目標受診率：国実施のクーポン事業における全国平均クーポン利用率

4 実施状況

<対象者>

子宮がん検診（20 歳）	平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日生まれ
乳がん検診（40 歳）	昭和 59 年 4 月 1 日～昭和 60 年 3 月 31 日生まれ

<対象者数、受診件数および受診率>

子宮がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
令和 3 年度	3,493 人	168 件	4.8%
令和 4 年度	3,261 人	137 件	4.2%
令和 5 年度	3,357 人	127 件	3.8%
令和 6 年度	3,366 人	133 件	4.0%

乳がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
令和3年度	5,038人	1,040件	20.6%
令和4年度	5,191人	837件	16.1%
令和5年度	5,257人	701件	13.3%
令和6年度	5,370人	753件	14.0%

< 発送日 >

令和6年4月24日(水)

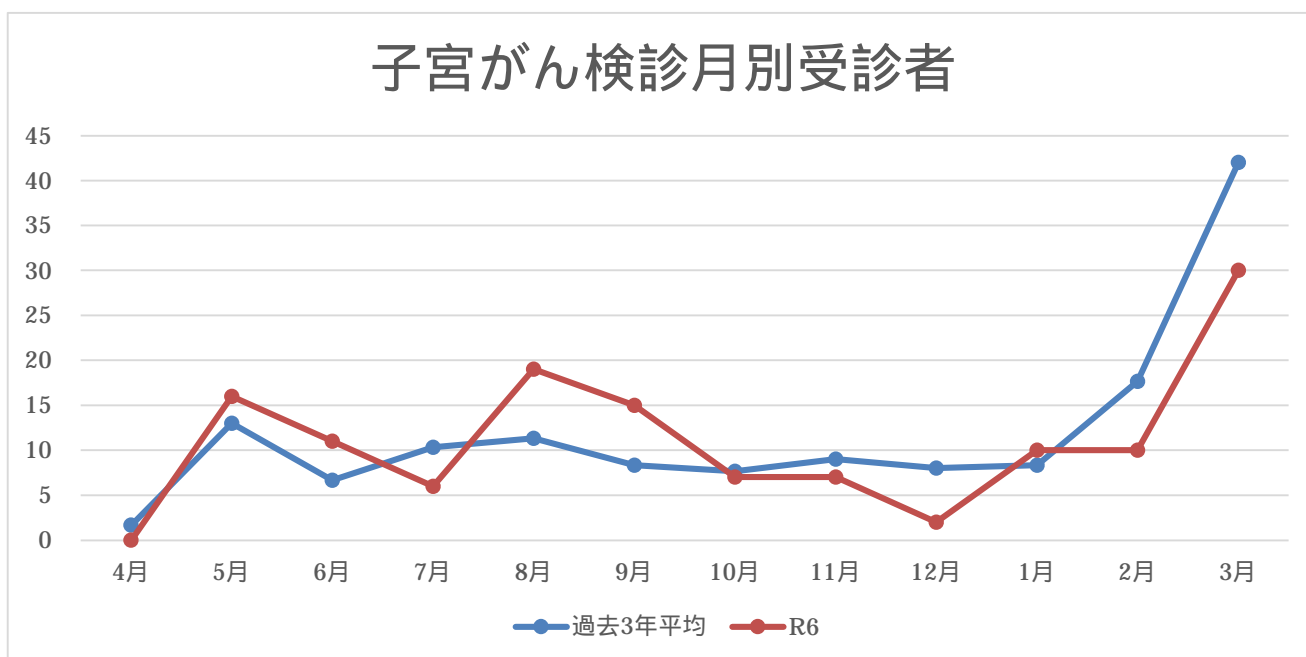
5 受診率向上効果について

受診率向上効果を検証するため、過去3年(令和3年~令和5年度)の平均と比較した。

【子宮がん検診】

無料チケット送付直後の5月、学業の休業期間にあたる8月・3月は受診者が増えたものの、受診数、受診率共に過去3年平均を下回る結果となった。

令和6年度 133人(3.5%)、過去3年平均 144人(4.3%)

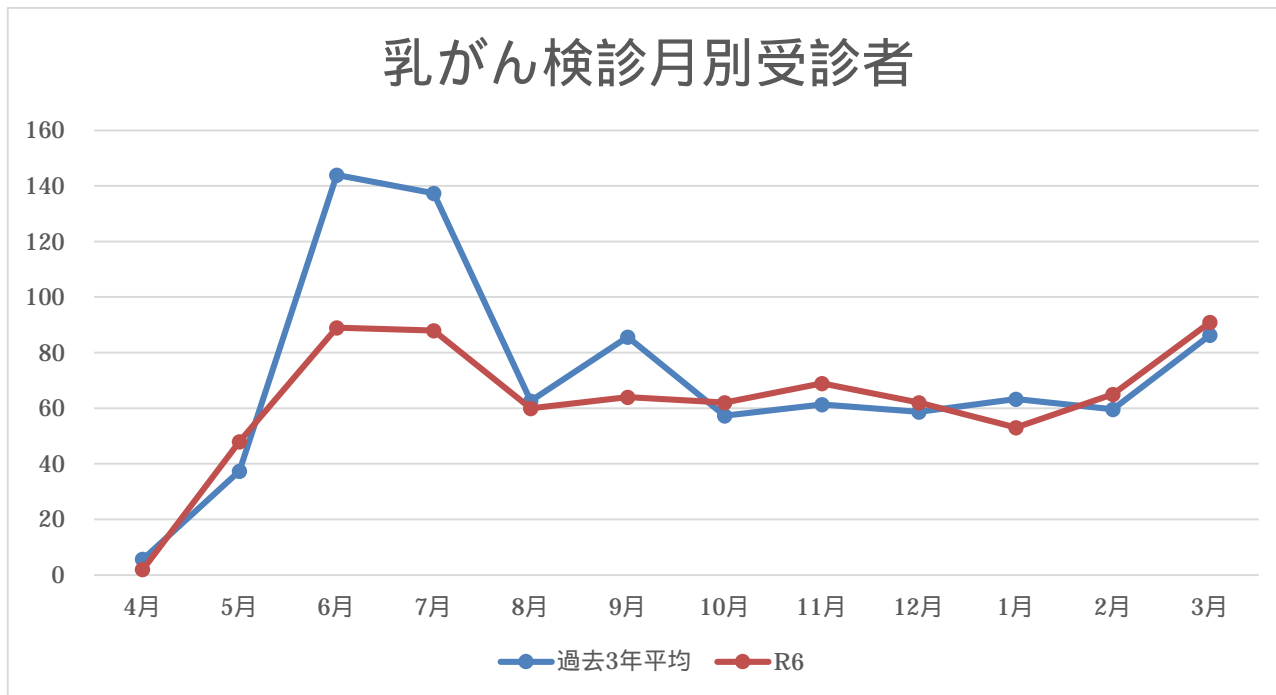


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去3年平均	2	13	7	10	11	8	8	9	8	8	18	42	144
令和6年度	0	16	11	6	19	15	7	7	2	10	10	30	133

【乳がん検診】

無料チケット送付から2か月後は例年通り受診者数が大幅に増えたものの、合計では受診数、受診率共に過去3年平均を下回る結果となった。

令和6年度 753人(14.4%)、過去3年平均 859人(16.6%)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去3年平均	6	37	144	137	63	86	57	61	59	63	60	86	1,005
令和6年度	2	48	89	88	60	64	62	69	62	53	65	91	753

6 考察

いずれの検診も無料チケット事業の受診率は目標値を達成できていない。特に子宮がん検診は受診率が4%前後であり、検診の必要性やメリットに関する情報が対象者に十分に伝わっていないことが要因として考えられる。若年層でもがんを発症する可能性があることや早期発見が治療や予後に大きく影響することなどについて年齢に応じた啓発を行うとともに、再勧奨の実施など、受診促進に向けた取組が求められる。